

## 雄岡山福祉会「法人内 みてみて保育」実施報告

**日時:**令和3年6月25日(金) 9:00~15:00

**場所:**認定こども園 おっこう山

**参加者:**総毛、谷、小池(北町)溝口、横矢(山のまち)

### 内容(学びのねらい)

#### ○幼児クラス

- ・保育のすすめ方、環境についてのヒントについて共に学ぶ。
- ・幼児担任同士の連携を客観的に見て、改善する視点について話し合う。

#### ○乳児

- ・0、1歳児クラスが、連携を取りながらの保育の組み立てを客観視して視点を共有する。
- ・子どもたちが、安定した生活を送れる導線や環境を共に視点を学び合いたい。
- ・子どもへの丁寧な関わりについて。

○各クラス、事務所を客観的に見て、感じたことを伝えてもらい、気が付いていないことに気付く機会にする。

### 研修を終えて(振り返り)

#### ○乳児クラス

- ・養護の丁寧さを再確認する機会となった。職員が改めて、子ども一人一人に丁寧な関わりをする事が重要で、子どもたちの情緒の安定を図れる事をこの機会に職員同士で話す機会となった。
- ・乳児は特に、子どもが何を訴えているのかを見極めていく保育力を身に付けていく事が重要。子どもの姿について、語り合う場をこまめに持つことを目指す。  
→乳児だからこそ、子どもとの応答関係を大切にしていく。
- ・子ども一人一人の成長をととても感じるので、だからこそ、あそびの内容の充実を図っていく努力をする。

#### ○幼児クラス

- ・豊かな自然を活かそうとする、教育保育内容を展開しようとしている。その上でより一層、目の前にある自然環境を日々の教育保育に取り入れていくよう努める。
- ・室内の環境をもっとエリアをして充実させ、子どもがあそび込める環境構成を考えていく。また、幼児として共有スペースが多いので年齢に応じたエリア構成を考えていく。